

城上幼稚園だより

すくすく

「山と川と人とつながるたくましい子ども」

令和7年2月19日（水）発行

TEL 30-2155

「春の準備が始まっています」

園長 米丸 寛之

寒さは依然として厳しいですが、寒暖の差が激しくなっており、プロ野球やプロサッカーのキャンプが行われていることなどからも、春が少しずつ近づいていることを感じます。

さて、本園の園児たちも、それぞれに4月からの新生活に向けて準備を進めています。くま組の4人は、入学する予定の学校が開催した入学説明会に、うさぎ組の1人は、新たな生活を送る園の入園説明会に出席しました。出席した園児の感想を紹介します。



- 市井瀬 鷹さん：1年生が作ったすごろくで遊んだで、めっちゃおもしろかった。
- 内村 碧仁さん：1年生と一緒に遊んで楽しかった。
- 大瀬 湊仁さん：1年生がけん玉をしてみせてくれてすごいと思った。
- 下大迫輝月さん：いろんな道具で遊んで楽しかった。
- 手島 紬 さん：ドキドキしたけどお友達と遊んで楽しかった。

園児たちの、次のステージに向けた前向きな気持ちを大変嬉しく思います。ランドセルや筆箱等の学習用具や制服等、御家族が一緒になって準備を進めている面が多いとは思いますが、園児たちが、新生活スタートのその日を気持ちよく迎えることができるよう、引き続き、どうぞよろしくお願いします。

「親子20分間読書」運動～本がひらく わたしの未来～

来年度から小学生になる園児もいますので、今回は、令和6年度の城上小学校の児童の読書に関することを紹介します。

まずは、読書冊数についてです。1～2年生は120冊、3～4年生は110冊、5～6年生は100冊を年間の目標にして図書室の本を借りて読んでいます。令和7年1月現在で目標を達成している児童は、1～2年生で100%、3～4年生で55%、5～6年生で82%と、全体で76%となっています。現在も読書冊数は増えています。

次に、本により興味を持って親しんでほしいことから、図書委員を中心にして、おはなし会の開催、お楽しみ抽選会の開催、

読書ビンゴ
スタンプラ
リー、読書
標語コンク
ールの実
施、先生方
の読み聞か



せなど、様々な取組を行っています。今年度は、新たに「おうちの人にお薦めの本を紹介しよう」という取組を行いました。



「日頃から本をたくさん読んでいて、いろんなことを教えてください。これからも本を読んで、知る楽しさを学んでほしいと思います」という保護者から子どもへのコメントなど、子どもと保護者の温かく深いつながりがあり、正に読書を通じた家族の絆づくりだと感じました。

最後に、新しい本が続々と入ってきます。図書だより等で紹介されますが、児童はそれを楽しみにして、新たに借りて読んでいます。

いかがでしょうか？タイトルの通り、本は未来をひらいてくれる素敵なものだと思います。本に興味を持って、本に触れていろんなことを知り、学び、生かしてほしいと思います。

